

# 国東 応援隊 新聞



毎月発行

国東市役所 政策企画課  
☎0978-72-5161  
<http://web.city.kunisaki.oita.jp/>

ブログ掲載中

excite  
<http://kunisaki2.exblog.jp/>

<http://www.facebook.com/kunisaki.ouentai>

## 国東市空き家バンク 4年目の現状と 今後について



地域域おこし協力隊として空き家バンクの仕事に携わり2年が経とうとしている。4年目を向かえた今年度の空き家バンクの状況を報告いたしますと、成約数は30世帯56名の方が国東市へ移住されて来ました。この4年間での成約延べ数は64世帯141名になり、内9世帯16名の方が移住後転出されて行きました。この数字を見ても、今年度1年で過去3年間の半数近くの方が移住されてきた事になる。その背景には、固定資産税の通知書に空き家バンク制度のチラシを入れ、空き家バンクの認知度が広がり物件登録件数が増えた事や、賃貸・売却価格を公表する事により、お手頃な物件が国東市には多い印象を与えた事にあると思う。今までに170件もの空き家物件が登録され、賃貸価格1万円(3万円代が多く、売却価

格もかなり魅力的な物件がある。また利用登録数も過去最多の150世帯となり、移住希望者の人数が増えた事も考えられる。しかし、今年度の移住者の傾向を見ると子育て世帯の移住者がほとんどなく、15歳以下のお子さんがある家庭が今年度はいなかった。50歳以上の方が41名とやはり定年後の生活を田舎でと考えられている方が多いのが現状。近隣市においては、子育て・教育環境を整え子育てしやすい環境を整備し、若い世代・子育て世代を呼び込もうと力を入れている。地方では、移住希望者の取り合いが続くと思うが、空き家バンクの物件数や、物件価格でなく、魅力ある国東市の取り組みをアピールし、国東市で暮らしてみたいという移住者を募って行ければと思う。



七島蘭工芸土による製品

ないのが現状と、くにさき七島蘭振興会事務局

実際に七島蘭を栽培していた方々の中には、辛い経験をお持ちの方も多し事だろう。そんな七島蘭の暗いイメージが変わろうとしている。蘇る現代の高級七島蘭は畳表としてだけではなく工芸品としても世界から注目されている。現在、断るほど注文があると、七島蘭。生産が追い付かないのが現状と、くにさき七島蘭振興会事務局

長をして細田さんは語る。10数年前は40〜50件あった七島蘭農家も現在は7件と激減。何とか生産者を増やそうと模索中との事。そんな中、今年度は3件の新規参入があり僅かだが上昇傾向にある。その要因に辛いイメージを持たない新規就農者が増えているという。しかし田植え収穫は昔ながらの手作業、品質の良い七島蘭栽培技術の習得等課題もある。しかしそれらを払拭できれば生計は成り立つとの事。

## 七島蘭農家、 工芸土大募集！ 蘇る現代の高級七島蘭の現状



七島蘭農家さんの植付けの様子

市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。

# 2年間ありがとうございました! 国東応援隊を卒業します…



上平将義

平成25年4月より国東応援隊(地域おこし協力隊)として移住定住事業(空き家バンク)のお手伝いをしてきた上平です。埼玉県さいたま市より一家四人で安岐町朝来に移住し、就農準備をしながら2年間の市役所勤務をしてきました。最初は言葉や地名の壁にぶつかり日常会話にすら支障を来したり、同じ苗字があまりに多く誰の事を言っているのか分からない事が多々ありました。今では子どもたちもすっかり国東弁を話すようになり、順応性の高さに驚いています。

空き家バンクでの主な仕事は空き家調査や空き家バンクへの登録、そして移住希望者への物件案内でした。当初は空き家バンクの知名度も低く登録件数も低かったのですが、今では順調に登録件数も伸び、多くの移住者が国東市へやって来ましたが、しかしそれと同時にトラブルもあり、考えさせられる事が多かったのも事実です。僕自身、空き家バンクで移住し移住者の気持ちに分かる一方、多くの空き家所有者(大家さん)に出会い、どちらの立場も理解できるつもりでいます。しかし忘れてならないのは地域の方々の気持ちではないでしょうか?移住者や空き家所有者だけが満足するのではなく、そこに暮らす地域の方々が喜んでくれる空き家バンクであって欲しいと心から思います。最後になりますが、お世話になった皆さんにお礼を申し上げますので共に、これからは農業で頑張りますので応援よろしく、お願いします。

## 産業創出課の地域おこし 協力隊員2名も卒業



2月末で卒業し東京に帰ることになった  
2人のコメントが届いております。お疲れ様でした!

### 大瀬昌己

私の地域おこし協力隊としての主な任務は国東市内の農業生産者や農地情報の集積でした。農産品の生産部会や区長さん、集落支援員さんたちへのヒアリングやインタビュー等により、生産品目や生産量、遊休農地や後継者などの課題、新規就農者受け入れなどについての情報を把握し、表に落とし込んでいきました。また市内にはこだわりを持って育てられている生産者の方々が多く、生産品目も多品種にわたることに驚きました。集積した情報が、今後の生産者支援や新規就農支援に繋がればと思います。

### 金壮城

私の地域おこし協力隊としての主な任務は国東市が抱える地産品の調査及び開拓と情報のデータ化でした。具体的には農産品や水産加工品が集まる道の駅や里の駅などの直売所に訪問し、商品のラインナップを調査、後に生産者の方々のもとへ伺って生産ロットや生産量を把握し、データ化していきました。また地域を訪問する中で、これから商品化を目指したいと考えている方々が市内に多くいらっしゃることもわかりました。集積した情報が、今後の販路支援などに役立つくれればうれしく思います。

空き家バンクを通して  
移住されてきた方をご紹介します  
**ようこそ!国東市へ!**



国見町  
伊美

お茶など  
お花が豊富  
お味が光  
差が味を生  
産者を生

今年の1月末に鎌倉から国見町伊美に移住して来た生出(おいずる)さん。当初、姫島への移住を考えていたが、国東を訪れすっかり気に入ってしまったという。これからは家庭菜園や釣りなど、目一杯楽しみたいと話している。鍼灸師の生出さんは現在自宅で開業準備中。国東市へ恩返しをしたいと75歳以上と中学生以下の診察を無料で行うとのこと。

国見鍼灸センター

☎(0978)28-03666

市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。